

を用いて高齢者（75歳以上）の医療費を推計する<sup>43</sup>。

2003年以降の診療報酬改定年を除く平均伸び率は、一般1.2%、高齢者1.6%である。また、2008年4～6月の1人当たり医療保険医療費（除公費負担等医療費）は、一般178.1千円、高齢者849.7千円<sup>44</sup>である。

これを毎年、一般1.2%、高齢者1.6%で延伸し、人口を乗じると、医療保険医療費は2015年には36.7兆円、2025年には45.5兆円になると推計される。

公費負担等医療費<sup>45</sup>は、2006年度は国民医療費の8.7%である。今後もこの比率が変わらないとして計算し、医療保険医療費に加算する。その結果、国民医療費は2015年には40.3兆円、2025年には49.9兆円になると推計された（表2-1-1）。

表2-1-1 医療費の将来推計－現状の医療費の伸びから推計した場合－

1人当たり医療費の伸びの前提 <sup>*1)</sup>	一般	1.2%	高齢者	1.6%
-------------------------------	----	------	-----	------

		2008年	2015年	2020年	2025年
1人当たり医療保険医療費(千円) <sup>*2)</sup>	一般	178.1	193.4	205.0	217.4
	高齢者	849.7	952.8	1,034.0	1,122.0
人口(百万人) <sup>*3)</sup>	一般	114.9	109.0	104.0	97.6
	高齢者	13.1	16.5	18.7	21.7

\*1)70歳未満を一般(0～74歳)、70歳以上を高齢者(75歳以上)とみなす。

\*2)足下の1人当たり医療保険医療費は、厚生労働省「メディアス」の2008年4～6月累計を年換算した。

\*3)2008年度の人口は、メディアスのデータから逆算した。2010年度以降の人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口－平成18年12月推計－」より

医療費の将来推計

(兆円)

		2008年	2015年	2020年	2025年
医療保険医療費	一般	20.5	21.1	21.3	21.2
	高齢者	11.1	15.7	19.4	24.3
	計	31.6	36.7	40.7	45.5
公費負担等医療費		3.0	3.5	3.9	4.4
国民医療費		34.6	40.3	44.6	49.9

(参考)「グランドデザイン2007」での推計

	2008年	2015年	2020年	2025年
国民医療費	30.7	34.8	37.7	41.3

※2006年を起点に推計。また当時の伸び率は、一般0.9%、高齢者1.0%であった。

<sup>43</sup> 「グランドデザイン2007」も同じ方法で対処した。2003年、2004年、2005年のデータを対象としており、1人当たり医療費の伸びを一般0.9%、高齢者1.0%として、医療費の将来推計を行なった。

<sup>44</sup> 1人当たり費用は、伸び率のように前年データが必要ないので、一般は2008年の一般（除後期高齢者医療制度対象者）、高齢者は2008年の後期高齢者医療制度対象者の費用を用いている。

<sup>45</sup> 公費負担医療給付分（生活保護法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、障害者自立支援法、結核予防法等）、労働者災害補償保険、全額自費、その他。